

北海道序章

森山大道写真展

時をこえ、記録が、記憶が語りだす。

Photo DAIDO MORIYAMA

2009年7月11日(土)→8月23日(日)

夕張市美術館

HOKKAIDO-Introduction-DAIDO MORIYAMA Exhibition
11 July - 23 August 2009 YUBARI ART MUSEUM, YUBARI

開館時間：9:30-17:00 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日) 観覧料：大人700円 高校生500円 小中学生300円 シニア(65歳以上)600円
主催：夕張市教育委員会 夕張市美術館支援友の会 札幌宮の森美術館 後援：夕張リゾート株式会社 夕張写真サークル 協賛：エプソン販売株式会社
特別協力：STV札幌テレビ放送 協力：株式会社 図書新聞 株式会社六書堂 株式会社ミツノ 企画：CAPSS(NPO法人芸術文化事業支援機構)

僕は北海道が好きだ、などというよりも、僕にとって北海道はおそらく終生変わることはない〈我が愛〉なのである。「犬の記憶」より

商業デザイナーを経て、写真家・岩宮武二や細江英公のアシスタントを務めていた森山大道が、フリーの写真家としてデビューしたのは1963年のことでした。カメラ雑誌などを中心に発表された粒子の粗いハイコントラストの表現は「アレ、ブレ、ボケ」と形容され、当時の日本の写真界に大きな衝撃をもたらします。最初期の代表作「にっぽん劇場写真帖」(68年)や、写真とは何かをラディカルなまでに追求した問題作「写真よさようなら」(72年)は、今も日本写真史に残る傑作写真集のひとつに数えられています。その森山が「写真よ…」以降に味わった長いスランプから再起を果たす契機となったのが、78年夏の札幌滞在でした。

三ヶ月という期限つきでアパートを借りたばかりは、その間、雨降りできさなければ(雨の日でも撮るべきだった)、とにかく自分の決めとして連日カメラを持って外出した。…中略… バスに乗り列車に乗って北海道のあちこちを写し歩いた。まれに一泊となることもあったが、ほぼ連夜、重い足を引きずってアパートに辿り着き、寒い部屋でひとり食パンをかじりウィスキーをなめ、また得体の知れない憂鬱にとりつかれて長い夜を苛々と過ごしていた。

「犬の記憶 終章」より

しかし、このとき撮影された無数のカットは、殆どが発表されることもなく、フィルム現像の段階で保管されたまま今日まで眠りつづけていました。

森山大道写真展「北海道」では、およそ30年振りに見直されたこれらのネガの中から、入念なチェックを経て新たにプリントされた約2,000点を、会場ごとに地域や展示コンセプトに沿ったそれぞれの構成で展覧するユニークな試みです。



Photo DAIDO MORIYAMA

HOKKAIDO - Introduction - DAIDO MORIYAMA Exhibition

約2,000点のプリントから会場ごとに異なる構成で綴る”DAIDO が録った北海道”
2009年、2010年に続き2011年 最終章 開催予定。乞うご期待!

森山大道 Daido Moriyama



1938年大阪生まれ 写真家・岩宮武二、細江英公のアシスタントを経て63年フリーのカメラマンとなる。67年カメラ毎日に発表した一連の芸能人シリーズが評価され日本写真批評家協会賞新人賞を受賞。68年写真集「にっぽん劇場写真帖」発表。69年から5年間アサヒカメラで連載を持つ。また朝日ジャーナル、太陽、デザイン等に精力的に写真を発表。72年写真集「写真よさようなら」発表。80年オーストリア、グラーツほかで初の海外個展を開催。82年アサヒカメラで「犬の記憶」の連載開始。写真集「光と影」を発表。83年日本写真協会年度賞を受賞。85年フィラデルフィア美術館(ペンシルベニア)ほかで開催されたBLACK SUN: THE EYES OF FOUR展に出品。93年写真集「Daido hysteric」を発表。ニューヨークで森山大道写真展を開催。96年パリで森山大道写真展を開催。サンフランシスコ近代美術館、メトロポリタン美術館(ニューヨーク)などで回顧展を開催。03年毎日芸術賞受賞。カルティエ財団現代美術館(パリ)で個展を開催。島根県立美術館、釧路芸術館、川崎市民ミュージアムで「光の狩人 森山大道1965-2003」展を開催。04年ドイツ写真家協会賞受賞。06年から北海道教育大学特任教授を勤める。写真集「記録 No.6」を発表。07年ヨーロッパ各地を巡回する「森山大道回顧展 1965-現在」展を開催。札幌宮の森美術館で「森山大道写真展《記録/記憶》」展を開催。08年東京都写真美術館で回顧展と新作展を開催。12月に北海道の写真500点あまりをおさめた写真集「北海道」をヒステリックグラマーより発表。

推薦文

北海道を愛して止まないという森山さん。夥しい数のフィルムには1970年代の北海道の風景が閉じ込められているという。私のふるさと夕張、そして炭鉱地帯の光景が封印を解き、まさにこの展覧会で解き放たれる。森山さんとは同世代。彼の作品とこのわが魂がどのように共鳴するのか今から楽しみである。

夕張市長 藤倉 肇

ざらざらとした質感の黒い写真。これが森山作品の第一印象だろう。映し出された時代の風景。そこに人間の業の密やかなドラマがあり、何よりもやさしさがある。「日常の全てが決定的瞬間だ」という流儀をつらぬき、独自の世界観を示し続ける森山作品はこの展覧会で多くの人々を魅了するに違いない。

夕張市教育委員会 教育長 小林信男



交通アクセス

車：札幌市内より国道274号線から道道3号線・長沼～由仁町経由60分。夕張テニスコート前T字路を左折し約7分。道東自動車道・夕張1Cからは約20分。
電車：JR石勝線夕張駅下車、夕張市役所方面徒歩15分。
バス：夕鉄バス/札幌市内～夕張 都市間バスを利用。「ホテルシュubaro」下車、徒歩6分
中央バス/《高速ゆうばり号》札幌駅前～ホテルマウントレースイ下車、徒歩15分

森山大道写真展 スタンプラリー① 北海道を回ろう

3会場でもれなくポストカード1枚、さらに5会場全てを回られた方の中から抽選で20名様にサイン入りポストカードをプレゼント!
詳しくは札幌宮の森美術館HPでご確認下さい。

M	Y	A	P	H
スタンプの無い欄は無効です				

- 札幌宮の森美術館 6月26日(金)→8月30日(日) 札幌市中央区宮の2条11丁目2-8 MMG ☎011-612-3562
- 夕張市美術館 7月11日(土)→8月23日(日) 夕張市旭町4番地の3 ☎01235-2-0930
- アルテピアッツァ美唄 7月29日(水)→9月28日(日) 美唄市落合町栄町 ☎01266-63-3137
- 札幌パルコ 9月12日(土)→9月28日(日) 札幌市中央区南1条西3丁目 ☎011-214-2111
- 東川町文化ギャラリー 2月19日(金)→3月29日(日) 上川郡東川町東町1丁目19番8号 ☎0166-82-4700

*抽選は2010年4月30日、プレゼントの引き換えは2010年5月30日まで

夕張市美術館 YUBARI ART MUSEUM

夕張市旭町4番地の3 ☎0123-52-0930
観覧料：大人700円 高校生500円 小中学生300円
シニア(65歳以上)600円 団体料金は15名様より
<http://www.yubari-resort.com>

森山大道写真展「北海道」序章の情報、関連イベント情報は札幌宮の森美術館ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.miyanomori-art.jp>